

横浜市内で活動する団体が 国土交通大臣・神奈川県知事表彰を受賞しました

国土交通大臣表彰：打越公園愛護会(神奈川区)、ジャングル山の会(旭区)、
洗井沢水辺愛護会(栄区)、水仙クラブ(港南区)
神奈川知事表彰：NPO 法人かなざわ森沢山の会(金沢区)、みどりの学校(戸塚区)

「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰は、花と緑の愛護に顕著な功績のあった民間団体に対し、その功績をたたえ、国民運動としての緑化推進活動の模範として表彰するものです。今回、横浜市内で活動する4つの団体が受賞しましたのでお知らせします。

また、第32回全国「みどりの愛護」のつどい記念神奈川県都市緑化功労者知事表彰に、横浜市内で活動する2つの団体が受賞しましたのであわせてお知らせします。

なお、感謝状等については今後、受賞団体にお渡ししていきます。

1 第32回「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰について

「みどりの日」の制定の趣旨を踏まえ、国際花と緑の博覧会開催の理念を継承し、緑を守り育てる国民運動をさらに積極的に推進していくため、花と緑の愛護に顕著な功績のあった民間団体に対し、その功績をたたえ、緑化推進活動の模範として表彰するものです。

- (1) 受賞団体数 110団体(うち市内 4団体)
- (2) 横浜市の受賞団体について



感謝状と冊子

打越公園愛護会(神奈川区)

当会は、自治会が主体となり、植栽の手入れ、花壇管理、堆肥作り、清掃、マナー啓発等の公園愛護会活動に20年以上取り組んでおり、子ども会や老人会等世代を問わず交流を持ち、地域に開かれた活動を行っています。

特に花壇管理では、小さなセル苗から育てる花苗づくりにも積極的に取り組み、植えるときも地域福祉団体と連携し子どもと一緒に花植えをしたり、地元小学校の総合学習への協力を行うなど、公園を利活用しながら地域の方に親しんでもらうことを目指して活動しています。

また、公園内のグラウンドの管理・利用調整も行っており円滑な利用に寄与しています。

日常的に活動しているメンバーや、月1回など特定の活動日に関わるメンバーなど、地域住民がそれぞれの関わり方で公園管理に携わっています。長年の活動の中でメンバーの入れ替わりがありますが、その時々での会の体制や規模に応じて無理なく活動を続けています。



ジャングル山の会（旭区）

当会は、昔から市民に親しまれている憩いの場である樹林を将来に向けて残したいという地元有志が集まり、平成10年9月に設立されました。現在は、32名が活動しています。

この樹林を利用した様々な活動を通して、自然保護に関する関心を高めること、自然環境の確保及び活用を図ることを目的としています。約1.5haある樹林内を定期的に巡回・除草・下草刈り・清掃を行っています。また、季節ごとに古代の火おこし・青竹炊飯・ソーメン流し・木登り・巣箱作り・焼き芋・ジャンボ松ぼっくりクリスマスツリー作り・落ち葉プールなど数多くの行事を行い、地域住民に高い評価を頂いています。コロナ禍においても保育園や幼稚園児の散歩コースとしても大変喜ばれ活用されています。

今後も、残された貴重な緑を守り、より親しまれ安全できれいな樹林を目指して活動を継続していきます。



洗井沢水辺愛護会（栄区）

当愛護会は平成9年5月より活動を始めました。現在第一福寿会、第二福寿会、女性部の3班体制で組織された150名の会員がいます。それぞれの班が年間スケジュールを決め、分担してせせらぎ緑道の清掃、植栽の手入れを行っています。

町内会の老人会、婦人部の会員が水辺愛護会員になるため、担い手不足にならずに、常に多くの会員が活動しています。自分たちのまちを流れるせせらぎや緑を自分たちの手で綺麗にすることは、地域住民に潤いをもたらすだけでなく、住民が協力して守っているという結束力も生んでいます。

平成29年には横浜市から水辺愛護会として永年表彰20年をいただきました。今後もきれいな環境を保つように活動を進めていきたいと思っています。



水仙クラブ（港南区）

当会は、平成24年に東永谷地区センター・ケアプラザの施設利用者・ボランティアなど6名が中心となり緑化活動を始めました。その後、地域の人々にも参加を呼びかけ、花の植え替え、種まき講習会、水やりボランティアなど様々な活動を進め、施設利用者や往来する人々など多くの皆さまに四季折々の花々を楽しんでいただいています。

花壇の維持管理については、同クラブのよこはま花と緑の推進リーダーが、年間スケジュールや植栽計画を作成し実施しています。また、地域ケアプラザのチラシなどを活用し、幅広く活動を紹介するなど広報やPRに努め、美化活動実施日を「グリーンデイ」としてケアプラザの年間行事とするなど、施設と連携を図りながら地域に根付いた活動を行っています。さらに近隣小学校の児童も花壇づくりや水やり、花の名札づくりなどに参加し、学習の場としても活用され環境教育の一助ともなっています。



2 第32回全国「みどりの愛護」つどい記念神奈川県都市緑化功労者知事表彰について

第32回全国「みどりの愛護」のつどいの神奈川県開催を記念して、緑を守り育てる運動をさらに積極的に推進していくため、花と緑の愛護に特に著しい功績のあった神奈川県内の団体に対し、その功績をたたえ、緑化推進運動の活動の模範として、表彰するものです。

(1) 受賞団体数 31 団体（うち市内 2 団体）

(2) 横浜市の受賞団体について



感謝状と冊子

NPO法人かなざわ森沢山の会（金沢区）

当団体は平成10年4月に市民による任意団体として設立され、平成19年11月にNPO法人化しました。釜利谷市民の森、金沢自然公園等の緑地保全・植生回復と生物の保護を目的に横浜市長が承認する「森づくり活動年間活動計画」に基づき活動しています。

自然に親しめる場の提供や森の恵みの有効活用を図るため、杉や竹の間伐、倒木処理、下草刈り、散策道の除草等を行うほか、間伐材を活用し炭焼き、シイタケ栽培や木竹細工品を作製し、地域の方々へ配布しています。

また金沢動物園のイベントに参加し、ヒノキ材の丸太切り（コースター作り）等の体験会や自然保護教育事業を実施し、森の大切さをPRしています。



みどりの学校（戸塚区）

みどりの学校は戸塚区主催の生涯学習講座を受講した者が講座の講師の下に集って、当団体を立ち上げたのをきっかけに活動が始まりました。以降約25年に渡り、毎月2回定期的に樹林地内の除草、下草刈り、伐採を行う他、散策路の魅力アップのため、アジサイ、スイセン、ヒガンバナの増殖植栽を行っています。

また、発生材を使った啓発品の作製や自然観察会、収穫祭など地域と触れ合う活動を行っています。

春には「よこはま花とみどりのスプリングフェア」の中の自然どっさりコーナーに出展し1年間大切に育てた苗木や手づくり品などを販売しています。毎年楽しみに来てくださる方がたくさんいます。

数年前からは地域を流れる宇田川の源流域で市民の森愛護会と共にホテルの里づくりに取り組みホテルの自然発生に成功しています。



【参考】感謝状の授与について

9月25日（土）の第32回全国「みどりの愛護」のつどい（神奈川県横須賀市）において感謝状授与等が行なわれる予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、式典及び記念植樹は取りやめとなりました。

お問合せ先

【表彰全体について】

環境創造局政策課みどり政策調整担当課長 岩間 隆男 Tel 045-671-2473

【打越公園愛護会について】

神奈川土木事務所副所長 宮本 康司 Tel 045-491-3363

【ジャングル山の会について】

北部公園緑地事務所長 武部 真人 Tel 045-353-1166

【洗井沢水辺愛護会について】

道路局河川企画課長 高橋 陽太 Tel 045-671-2818

【NPO法人かなざわ森沢山の会について】【みどりの学校について】

南部公園緑地事務所長 緒賀 道夫 Tel 045-831-8484

【水仙クラブについて】

(公財) 横浜市緑の協会施設課長 景山 敦樹 045-228-9436

